

会派の主張

(平成二十九年十二月八日の本会議の質問など)

五面から十五面の内容は各会派が責任をもって掲載しています。

公明党

個人質問 江越 正一

ラグビー場の周辺整備・充実した小中一貫教育の取り組みを！

ラグビー開催に向けた活性化や周辺整備について

問 平成二十八年三月にラグビーワールドカップ2019日本大会の会場に本市W杯運営団体が花園ラグビー場を視察し、当初計画に

なかったドーピング検査室などが要求され、約三十億円追加費用が必要とな

たが、国の交付金やスポーツ振興くじの助成金、計二十九億円が改修費に充てられることが決定し、この改修工事が本年二月に着工することができた。そんな中、

内の椅子の撤去が終わり、花園ラグビー場の看板も撤去された。十月には新しいバックスタンド座席の設置が完了し、メインスタンドも座席の設置が開始される

と仄聞している。また、市民や企業からの寄付金も十一月末現在で、一億六千万円以上集まり、改修費用の確保については一定めどが立ったと聞く。しかし、ラグビーワールドカップ2019花園の開催まで二年を切り、ここに至るまでに支



整備されたバックスタンド座席

十一月二日に、ラグビーワールドカップ2019日本大会の全四十八試合の対戦カードごとの試合会場と日程が発表され、イタリア、アフリカ予選勝者、アルゼンチン、トンガ、ジョージア、フィジー、アメリカの七カ国で四試合が本市花園ラグビー場に決定した。現在、改修を行っており、来年九月の完成予定で進められている。改修工事は花園ラグビー場を囲うよう

にして柵を設置し、会場

開催の認知度を向上させ、改修費用の確保については、企業や団体に対しての働きかけをより一層強化して取り組みを進めるようにお願いしたい。ラグビー場を中心として、公園新設改良事業で花園中央公園内の案内標識設置費七百八十万円が提案されているが、これまでに設置されている看板とどのように変わるのか答えよ。

わって2020年度から始まる「大学入学共通テスト」の試行調査の問題と結果を公表した。現在のセンター試験からの大きな変更として、これまでのセンター試験になかった記述式問題を導入し、「知識・技能」だけでなく、大学入学段階で求められる「思考力・判断力・表現力」を中心に評価するという考えをベースに出題内容の検討が進められている。特に、英語については、グローバル化が急速に進展する中、英語のコミュニケーション能力を重視する観点から、大学入学選抜でも四技能である読む、聞く、話す、書く、を評価する必要性が示され、民間の資格検定試験を活用して四技能を評価するなど、実施形態を含めて大きく変わる。

試行期間となる。本市は、他市にあまり例のない施設分離型でのスタートであることも踏まえ、保護者や地域の方々へ一貫教育の見える化を図るためにも、教科の核として英語を小学校一年生から導入する。例えば、民間の資格検定試験の受験をサポートすることを盛り込んでどうかと考えるが、関係部局の見解を問う。

都市整備部長 現在、花園中央公園内においては、日本語表記の総合案内看板が設置されているが、今回大阪府の市町村観光振興支援事業補助金を活用して、日本語、英語、韓国、朝鮮語、中国語の四ヶ国語対応の総合案内看板の設置と誘導看板の充実化を図る予定であり、今年度末の設置を考えている。

小中一貫教育の見える化について

問 先日、文科省は大学入試制度がセンター試験に代

大阪維新の会

個人質問 笹谷 勇介

個人質問 岸本 光生

市民生活に直結する基盤整備の拡充を早期に実行せよ！安全で快適な暮らしの実現を！

長瀬西幼稚園等の跡地について

問 少子化時代の中、中学

校、小学校や幼稚園の統廃合が毎年のように行われている。これらの地域は住民の高齢化、少子化が進行し、これにどう対応するかが地

(次頁へつづく)